

POCARI SWEAT OASIS 実施報告

第18回アジア競技大会にて各国強化関係者の交流拠点として初の試み

日本スポーツ振興センター（JSC：JAPAN SPORT COUNCIL）が委員長を務めるアジア強化拠点連合（ASIA：Association of Sports Institutes in Asia、呼称：アジア）は大塚製薬株式会社と連携し、第18回アジア競技大会（2018ジャカルタ・パレンバン）において各国強化関係者の交流拠点として初の試みとなる POCARI SWEAT OASIS（通称：オアシス）を開設し、運営しました。

開設期間中は、アジア諸国間の交流とネットワークを広げ、深める拠点として、各国のスポーツ医学の専門家による情報共有セッション、各国の政府関係者やスポーツ団体関係者によるミーティングや会談などの場として活用されました。

【オアシス実施報告】

<設置期間> 平成30年8月18日～9月2日 11:00～19:00

<場所> Century Park Hotel Jakarta

<利用実績> 19カ国・地域から延べ707人、情報共有セッションは16回実施し延べ127人参加

（利用人数：国・地域別）

インドネシア	日本	シンガポール	中国	香港	韓国	※その他
294	227	84	30	24	15	33

※その他はサウジアラビア、バーレーン、スリランカ、ミャンマー、カンボジア、ベトナムなど13カ国・地域

（利用人数：属性別）

政府 政府系機関	NOC/NPC	競技団体	国際団体	大学 学術機関	大塚製薬	その他
138	16	96	10	30	160	257

※その他はアジア大会組織委員会、メディア、企業関係者など。

<成果>

ASIA の理解度と加盟の有用性に対する理解を深めることができた。また、サウジアラビア、バーレーン、スリランカなど、これまで交流の少なかった西アジアや中央アジアとのコネクションを作ることができた。

さらに JSC としても、アジア諸国に JSC とその取組への認知度・理解度を促進することができ、アジア諸国の交流促進に対する日本のリーダーシップに対しても高い評価を得た。

<今後の予定>

第3回 ASIA カンファレンス 2018 の開催（11月、シンガポール）

大塚製薬との新たな連携事業や東京2020での交流拠点設置についても検討予定

